



歩こうかい 2 月例会(通算 410 回)



旧伊勢街道の街並みと結城神社のしだれ梅

2026 年 2 月 11 日(火)

天気:曇り一時雨 参加者 13 名 <16,000 歩>

JR阿漕駅あこぎ・・・(旧伊勢街道)地蔵堂・・・八幡神社石標・・・香良洲道追分からす・思案橋・・・結城神社(昼食)

市杵島姫神社いちきしまひめ・常夜燈・・・閻魔堂・・・道標・・・仁王門・・・観音堂・・・四天王寺・・・JR・近鉄津駅

前日から降り続いた雨は、JR 阿漕駅集合時刻の 10 時 45 分に合わせたように上がる。

20 分程歩くと旧伊勢街道に入り、所々に残る旧家を見ながら香良洲道との追分に向かって南に歩く。思案橋が当時のまま残されていて、その昔は「からす詣らな片参宮」と言われ、伊勢神宮の往路か復路に多くの人が香良洲神社を訪れ、どちらに向かうか思案をしたことから名付けられたとのこと。



旧伊勢街道に残る旧家



古い街並みを歩く



思案橋(伊勢街道と香良洲道の分岐点)

追分で折り返し、北に向かい結城神社へ。参拝の後、隣接する公園で昼食を楽しみ、本殿前で集合写真を撮る。梅園のしだれ梅の開花は下旬とのことだが、境内にろう梅や紅梅が咲いていた。



結城神社



昼食風景



境内のろう梅



本殿前

再び旧伊勢街道をしばらく歩くと、古い街並みの北端に建つ市杵島姫神社に着く。市杵島姫命は水の神。隣接する閻魔堂はエンマ堂の愛称で親しまれ、小窓から閻魔王座像や円空作十一面観音立像などが拝める。



閻魔堂

住宅街、国道 23 号に変わった旧伊勢街道をしばらく歩き、岩田川を渡ると旧町名の標柱が目にとまる。かつては商店や旅籠屋で賑わい、問屋、本陣、脇本陣などがあり、大門商店街を通り仁王門をくぐると日本三大観音堂の一つ「津の観音様」と親しまれる如意輪観音堂に着く。



岩田川を渡る



標柱



道標の文字を解く



津観音の仁王門

国道 23 号に戻り、JTB 津店の前を通り四天王寺へ。聖徳太子が建立されたといわれる 1000 年以上の歴史のある古刹で、数々の文化財が残されている。参拝を終え寺を出ると雲行きが怪しくなり、津駅直前で少し降られるが無事完歩。駅構内の喫茶店で歓談し 15 時頃解散する。

記：奥村正忠



四天王寺山門



四天王寺鐘楼